

5

卒業文集最後の二行

「私」には、今でも後悔している、取り返しのつかない心の傷があります。小学生の頃、同級生にT子さんという女の子がいました。経済的に恵まれず、汚いことをしている彼女に、仲間と一緒に嫌がらせをしたのです。ある日、漢字テストで、どうしても書けない字があった「私」は、隣のT子さんの答案を盗み見ました。



わたし (イチノヘ)



T子さん

